

Jupiter

ROUTER & FACILITY CONTROL SYSTEM

Jupiterルーターコントロールシステムは、多くの機種
のルーターマトリックス、オートメーションシステム、
およびその他の機器と密接に連携し、単一のコントロ
ールシステムで、メディアリソースを容易に統合するこ
とができます。



グラスバレー製品は、収録、制作、ストレージ、
再生などの包括的なマルチフォーマットソ
リューションを提供し、ステータスと動作状況
を集中的かつ先行的にモニタリングするた
めの強力な基盤となります。

小型ボタン、大型ボタン、LCDボタン、および
ソフトウェアベースのGUIパネルを含む様々
なコントロールパネルが用意されており最適
なインターフェースと特定の機能を自由に
選択できます。ハードウェアコントロールパ
ネルは、フルカラーLCDディスプレイと、
イーサネットおよびシリアル接続を備え、設
置しやすい薄型のモジュラー構造になってい
ます。

Jupiter™ AccuSwitch™の最新バージョン
のソフトウェアは、JUP-CM-4400コント
ローラ上で動作します。高速プロセッサと
フレーム精度のスイッチングを特長とし、グ
ラスバレーの既存のJUP-CM-4000コント
ローラと100%の互換性があります。また
JupiterPlus™ (JUP-VM-3000コント
ローラ)またはJupiter Express (JUP-CM-
4000コントローラ)に統合することで、最新

の機能とパネルを簡単かつ効率的に導入で
きます。Jupiter AccuSwitchは、大規模お
よび中規模システムのための最適なコント
ロールソリューションです。

ニーズに合わせて拡張可能な スケーラブルなコントロールシステム

Jupiterシステムは、ルーターその他の機器
をコントロールするためのオープンかつス
ケーラブルなプラットフォームです。オート
メーションシステム、他社製ルーター、および
その他の機器と密接に連携して、単一のコント
ロールシステムで、メディア資産を容易に統
合することができます。モジュラー設計のため、
放送やその他の高品質コンテンツクリ
エーターは、必要とするコントロールレベル
が選択可能です。

Jupiterシステムは、最も基本的な1つの
ルーターマトリックスのクロスポイントの切り
替えから、複数のルーターマトリックスにまた
がる最大8192×8192のクロスポイントの
コントロールまで簡単に拡張できます。また
ユーザーは、イーサネットまたはシリアル

インターフェースを介して、タリーとマシンコ
ントロールを統合できます。さらに、Jupiterコ
ントロールシステムの下では、IP LAN/WAN
接続を介して、ハードウェアコントロールパ
ネルやPCソフトウェアコントロールパネルによ
り、物理的、距離的な制約にとらわれず、すべ
ての機器の集中または分散管理が可能になり
ます。

数々の強力な機能

Jupiterシステムは、包括的なコンフィグ
レーションと強力なコントロール機能を提供し
ます。最大96レベルのルーターマトリックスを構
築できます。また、パスファインディング(タイ
ライン)によるルーター間の透過的な操作を実
現したり、各ユーザーに対する独自のアクセス
優先権/制限機能の設定なども可能です。
ソフトウェアコントロールパネルにより、ユー
ザーは、PCから直接ソースとデスティネ
ーションをコントロールできます。
Jupiterは、ルーティングにおいてエイリアス
というコンセプトを採用し、異なるエリアに同
一の名称を割り当てることができます。

主な特長

- LANまたはシリアル接続の10種類のコントロールパネル
 - S25, S50, SXY, S100 - 小型ボタンシリーズ(300シリーズコントロールパネルの後継機)
 - L32, L64, LD4, LD16 - 大型ボタンシリーズ(3800シリーズコントロールパネルの後継機)
 - LCD16, LCD48 - LCDボタンシリーズ
 - 薄型のモジュラー設計パネルにより設置が容易
 - 奥行わずか32mmのDC電源仕様
 - 奥行108mmのAC電源仕様
- フルカラーLCDディスプレイを備えるパネルにより、ルーティングシステムのモニタリング性が向上
 - デスティネーションを黄色で表示
 - ソースを緑で表示
 - レベルをアンバーで表示
 - プロテクトステータスをマゼンタで表示
 - ロックステータスを赤で表示
- 既存システムと共に設置可能
 - 既存のJupiter PlusまたはJupiter Expressシステムに追加可能
 - 既存のハードウェアを残しながらシステムが拡張可能
 - イーサネットコントロールへの段階的移行が可能
- 画面表示、操作、および機能は、統一されたJupiterスタイル
 - 同一のファイルサーバー
 - 同一のユーザーインターフェース(既存のJupiterコンフィグレーションを利用)
 - 同一の基本機能(96レベル、パスファインディング(タイライン)など)
- Jupiter AccuSwitch (JUP-SW-4000)でのみ利用可能な追加機能
 - LANまたはシリアル接続の10種類のコントロールパネル(上を参照)
 - コントロールパネルのコンフィグレーション変更時のダウンタイムがゼロ
 - データルーターのパスファインディング(タイライン)

これにより、名前付けを簡素化できます。例えば、制作エリアに“VTR1”という名前の機器が存在する場合、“VTR1”という名前の機器を、別の編集エリアにも存在させることができます。このように、各拠点で、同じ“VTR1”という名前の異なる機器をコントロールすることが可能です。

Jupiterは、独自のクロスポイントバス接続という方法で、様々なグラスバレーのルーターをコントロールしますが、その中には、Trinix™、Apex™、Concerto™、Acappella™、およびVenus™ルーターマトリックスが含まれます。また、数多くのシリアルインターフェースをサポートしているため、多様な他社製ルーターをコントロールできます。

さらにJupiterは、グラスバレーの様々なマスターコントロールやプロダクションスイッチャー製品と接続することができ、その中には、Maestro™、Kayak™、Kalypso™、Kayenne™、Karrera™、M2100、Saturn™、Zodiak™、およびXtenDD™システムが含まれます。これらの製品は、ルーターをコントロールしたり、ルーターのソース/デスティネーション名にアクセスしてソース選択や名前の表示が行えます。そしてJupiterシステムは、グラスバレーのApexおよびConcertoシリーズデジタルオーディオルーターでのオーディオ属性処理をサポートしているので、ユーザーは、2つのオーディオチャンネルのスイッチ、加算、またはRのモノ、あるいは位相反転信号を両チャンネルに出力することができます。

Jupiterコントローラによる最大8192x8192までの拡張性

専用のコンパクトな1RUコントロールフレームを使用することで、Jupiterシステムは、複数のルーターマトリックスを備える大規模なマルチロケーションコンフィギュレーションをサポートできます。各コントローラは、1つのコントローラボードと1台の電源を備えます。ユーザーは、ネットワーク上で複数のJupiter

コントローラを組み合わせることで、作業負荷を分散してスループットを増加できます。ミッションクリティカルなアプリケーションの場合、ユーザーは、JUP-CM-4400コントローラを追加して、システムの信頼性を高めることができます。ネットワークに冗長性の高いJupiterコントローラを追加することで、アプリケーションに高いレベルの冗長性を確保できます。各Jupiterコントローラは、オートメーションインターフェースなどのアプリケーションに対して、8つのシリアル/IOポートをサポートします。

複数拠点のシステムコントロール

Jupiterシステムは、標準的なRJ-45 10/100Base-Tイーサネット接続を採用しているため、標準的なIPネットワーク技術を利用して、複数の拠点にコントロールを拡張できます。Jupiterシステムのネットワークに接続しているジャーナリストが、PCのコントロールパネルを使用してソースを選択する場合も、あるいは遠隔拠点の拡張ルーターマトリックスを完全にコントロールする場合も、Jupiterシステムは、標準的なイーサネットルーター、スイッチ、およびWAN/LAN機器を使用できます。

オートメーションとタリーコントロール

Jupiterシステムは、グラスバレーのポピュラーなES-LANと、ネーティブプロトコルの両方をサポートしています。多くのオートメーションシステム/タリーシステムは、これらのプロトコルに対するインターフェースを提供しているため、Jupiterとシームレスに動作します。

グローバルなパスファインディング(タイライン)管理

Jupiterは、パスファインディング動作をサポートしているため、レベル間で信号を透過的にルーティングできます。パスファインディングにより、ローカルルーターマトリックス上

のユーザーは、ソフトウェアにより自動制御された接続設定を介して、リモートルーターマトリックス上のすべてのソースを利用できます。ユーザーが、ローカルルーターマトリックス上に存在しないソースを要求すると、その要求は自動的にパスファインディングに割り当てられ、リモートルーターマトリックスからそのソースが取得されます。信号タイプが異なるルーター間のパスファインディングに変換機器を配置することで、各ソースに対する専用のコンバーターが不要になります。さらにJupiterシステムは、この信頼性の高いパスファインディング機能を拡張し、ローカルシステムだけでなく、リモートのルーターマトリックスと組合せて、パスファインディングをグローバルに構成する機能を備えています。

ロジカルマトリックスマッピング

ロジカルマトリックスマッピング機能により、物理的なクロスポイントマトリックスを複数のロジカルマトリックスに割りつけてクロスポイント利用を最大化できます。このため、異なるタイプの信号に対して専用の物理的入出力を用意する必要がありません。さらに、クロスポイントを選択的に割り当てられるので、入力信号を、適切な出力デスティネーションにのみルーティングできます。これらのロジカルマトリックスを1つのコントロールレベルに統合し、同時にスイッチングを実行することができます(オーディオ/ビデオ、ビデオ/キー、またはR/G/Bなど)。また、ロジカルマトリックスマッピングにより装置の接続をグループ化し、システムの配線を簡素化できます。Jupiterシステムのマトリックスリマッピング機能を利用すると、機器のアップグレードに伴うシステムの再配線を最小限に抑えることができます。また、入力または出力における機器のタイプやフォーマットを変更する場合でも、このリマッピング機能を利用すれば、ロジカルマトリックステーブルを変更するだけで、信号を正しい入力または出力に再割り当てすることができます。

Jupiterコントロールパネルのオプション

ソフトウェアコントロールパネルは、PC画面から操作可能

グラスバレーは、2種類のGUIソフトウェアコントロールパネルを提供し、これらはJupiterシステムのLAN/WANに接続されたPC上で操作できます。Jupiterシステムを利用し、管理者は、ユーザーのアクセス権とコントロールレベルを設定することで、誤操作を防止したり、新たな機能レベルを与えることができます。

LANまたはシリアル接続のコントロールパネル

グラスバレーは、すでに十分な実績を誇るJupiterコントロールパネルに、さらに10種類のパネルを追加することで、用途に応じた

豊富な選択肢を提供します。

これらのLANまたはシリアル接続のパネルは、汎用性に優れているため、放送局、中継車、および制作プロダクションに数多くの恩恵をもたらします。

LANまたはシリアルの10種類のパネルは、以下を実現するために、すべて共通の仕様を備えています：

- ・ イーサネットまたはシリアル接続
- ・ ACまたはDC電源オプション
- ・ GPIOオプション
- ・ カラーディスプレイ
- ・ 厳しい設置条件にも対応する薄型プロファイル(1.27インチ:32mm、電源部を除く)
- ・ ラベル挿入可能なボタン

・ 視認性の高いカラーバックライトボタン
10種類のコントロールパネルは、ボタンタイプ(小型、大型)またはLCDに分類できます。小型ボタンは、1つのパネルで数多くのボタンを必要とするアプリケーションに最適です(S100では、100個以上のボタンを使用できます)。大型ボタンは、より確実な押下と、大型のラベルが必要な場合に最適です。LCDボタンパネルは、16または48のデスティネーションとソースのステータスをボタンごとに動的に表示します。スクロールホイールによりページを簡単に変更し、LCDボタンに多数のデスティネーションとソース名を表示できます。

LANまたはシリアル接続の小型ボタンパネル

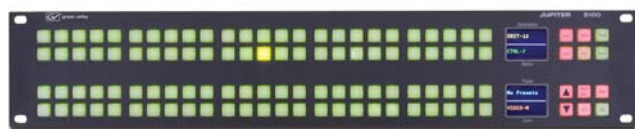
“S”シリーズには4種類のパネルがあり、すべてが従来のJupiter CP-300シリーズに良く似た設計です。小型ボタンはラベル作成が簡単で、コンフィグレーションの変更を頻繁に行うアプリケーションにも適しています。



S25 - 25個のボタンを備えるパネルで、通常、25のソースにアクセスするシングルデスティネーションパネルとして使用されます。レベルまたはデスティネーションの選択に、さらに8個のボタンを利用できます。



S50 - 50個のボタンを備えるパネルで、通常、50のソースにアクセスするシングルデスティネーションパネルとして使用されます。レベルまたはデスティネーションの選択に、さらに8個のボタンを利用できます。



S100 - 100個のボタンを備えるパネルで、通常、大規模なXYコンフィグレーション用に使用されます。100個のボタンを、ソースとデスティネーションに対して任意にグループ化できます。このパネルは、4つの表示エリアを備え(物理ディスプレイ当たり2つのエリア)、デスティネーション、ステータス、プリセット、およびレベルインジケータに割り当てられます。



SXY - 基本的なXYパネルで、ホイールによりソースまたはデスティネーションをスクロールでき、カテゴリ入力ボタンにより、すべてのソースとデスティネーションにアクセスできます。レベルとメニューボタンも使用できます。

LANまたはシリアル接続の大型ボタンパネル

“L”シリーズには4種類のパネルがあり、すべてが従来のJupiter CP-3800シリーズに良く似た設計です。大型ボタンなので機能の選択が容易です。



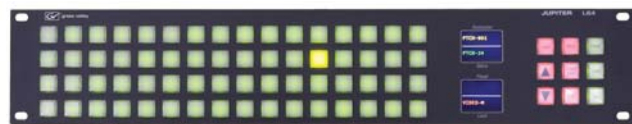
LD4 - カテゴリ入力を特長とするXYパネルで、ソース、デスティネーション、レベル、およびその他多くのアクセス可能な機能を、4つ同時にページ切替えます。メニューボタンオプションも利用可能です。



LD16 - 16の表示エリアを特長とする汎用タイプのマルチバスコントロールパネルで、XYソースまたはデスティネーション入力機能を備え、さらにソース、デスティネーション、オーバーライド、およびレベル用のボタンを備えています。メニューボタンオプションも利用可能です。



L32 - 32個のソースボタンを備えたコントロールパネルで、ページボタンを介して、利用可能なすべてのソースとデスティネーションを選択できます。メニューボタンオプションも利用可能です。



L64 - 64個のソースボタンを備えたコントロールパネルで、ページボタンを介して、利用可能なすべてのソースとデスティネーションを選択できます。メニューボタンオプションも利用可能です。

LAN LCDボタンパネル

Jupiter LCD16およびLCD48コントロールパネルは、デスティネーション、ソース、レベル、シーケンス(サルボ)、またはオーバーライドのページを、簡単な操作のスクロールホイールで自由に変更できると同時に、各ボタンのステータスを迅速かつ動的に更新できます。LCDパネルから直接、複数の動作モードを簡単に構築できます。

各パネルは、同時に16または48のデスティネーションのステータスを表示し、また、ロック、プロテクト、またはパスファインディングのステータスとともに、カレントソースを含む各デスティネーションの包括的なステータスを提供します。デスティネーションがプロテクトまたはロックされている場合、関連するボタンの色がそれぞれマゼンタまたは赤に変化し、プロテクトまたはロック機能を制御するパネルを示します。ルートが、別のルーターからのパスファインディングを使用している場合、ソースは、ソース名の上に“T”が表示されます。各ボタンは、それぞれ3行×8文字のテキストを表示できます。



LCD16 - 16ボタンLCDコントロールパネル



LCD48 - 48ボタンLCDコントロールパネル

オーダーインフォメーション

小型ボタンパネル

JUP-CP-S25

1 RU - 25ボタンパネル

JUP-CP-S50

1 RU - 50ボタンパネル

JUP-CP-S100

2 RU - 100ボタンパネル

JUP-CP-SXY

1 RU - 基本XYパネル

大型ボタンパネル

JUP-CP-LD4

1 RU - カテゴリー入力を備える
XYパネル

JUP-CP-LD16

2 RU - マルチバスパネル

JUP-CP-L32

1 RU - 32ボタンパネル

JUP-CP-L64

2 RU - 64ボタンパネル

LCDパネル

JUP-CP-LCD16

1 RU - 16ボタンLCDボタンパネル

JUP-CP-LCD48

2RU - 48ボタンLCD ボタンパネル

GUI ソフトウェアパネル

JUP-SP-Basic XY

基本XYソフトパネル

JUP-SP-ML-XY

マルチレベルXYソフトパネル

コントロールハードウェア

JUP-CM-4400

Jupiterコントローラ -
1 RU、コントロールボード、
電源を内蔵

コントロールソフトウェア

JUP-SW-4000

Jupiter AccuSwitch

●予告なく仕様または外觀の一部を変更することがあります。●グラスバレー製品の名称はGVBB Holdings S.a.r.l.の商標または登録商標です。●その他の商品名は各社の商標または登録商標です。

最新の製品情報はホームページで

<http://www.grassvalley.jp/>

●取扱代理店



グラスバレー株式会社

●神戸本社：〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1-1-3 神戸クリスタルタワー 19階
●東京本部：〒103-0027 東京都中央区日本橋1-12-8

●お問い合わせは

(営業本部) TEL.03-3516-2538

(カスタマーメールサポート) <http://www.grassvalley.jp/ask>

RM-4005D-3 12/07/02